



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キトー

コード番号 6409 URL <http://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03-5908-0161

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	39,536	20.3	2,876	56.1	2,465	29.4	1,185	△6.6
27年3月期第3四半期	32,868	18.3	1,842	△6.7	1,904	△11.0	1,269	△0.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 837百万円 (△72.6%) 27年3月期第3四半期 3,060百万円 (10.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	45.17	45.04
27年3月期第3四半期	48.58	48.31

(注) 当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	61,653		25,723		40.1	
27年3月期	63,183		25,626		38.9	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 24,725百万円 27年3月期 24,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	12.50	37.50
28年3月期	—	14.00	—		
28年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,700	13.5	4,600	35.5	4,300	25.6	2,400	18.4	91.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	27,048,200 株	27年3月期	27,048,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	787,016 株	27年3月期	815,016 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	26,250,073 株	27年3月期3Q	26,131,720 株
----------	--------------	----------	--------------

当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。発行済株式数(普通株式)は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社を取り巻く環境は、世界経済の減速懸念を受けて景況感が悪化するなか、海外市場とも不透明感が拡大しました。日本では企業の設備投資に緩やかな回復基調が継続するものの、投資に慎重な姿勢や、一部で先送りの動きなどが見られました。北米では需要は全体的に底堅いものの、原油価格の下落やドル高の影響を受けて、エネルギー産業、製造業の設備投資を下押ししています。中国は依然として景気の減速が続いており、中国経済の影響を受けたアジア地域では成長の勢いに鈍化がみられ、回復の兆しが見られておりません。

当社グループは、5ヵ年の中期経営計画を推進しており、平成23年4月のスタート当初から、①アジアを中心とした新興市場への事業展開、②製品ラインナップの強化、③生産及び調達のグローバル展開、④クレーンビジネス体制の構築に、取り組んでまいりました。昨今の中国経済の減速、アジア地域の設備投資鈍化といった外部環境の変化を受けて、北米事業へのリソースのシフトに加えて、利益管理を強化するなど、柔軟な対応をとり、中期経営計画の達成を目指しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、PEERLESS INDUSTRIAL GROUP, INC. (以下、PEERLESS社)の買収効果もあり、39,536百万円(前年同期比20.3%増)となりました。利益につきましては、連結営業利益2,876百万円(前年同期比56.1%増)、連結経常利益2,465百万円(前年同期比29.4%増)となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益については、海外子会社のクレーン案件の品質関連対応費用として、特別損失120百万円を計上したため、1,185百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。当社グループは、当社および連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
日本	18,715百万円 (8.2%増)	4,177百万円 (31.7%増)
米州	20,081百万円 (43.1%増)	556百万円 (24.8%減)
中国	6,260百万円 (0.5%増)	755百万円 (25.6%増)
アジア	3,037百万円 (2.1%増)	△179百万円 (前年同期は437百万円の営業損失)
欧州	1,106百万円 (11.1%減)	17百万円 (0.1%増)

(日本)

売上高は18,715百万円となり、前年同期に比べて8.2%の増加となりました。民間の設備投資需要が底堅く、電動品やクレーンなどの受注が堅調に推移しました。営業利益は、工場での生産性の向上が寄与したことに加えて、輸出採算が改善したことから、前年同期に比べて31.7%増加し、4,177百万円となりました。

(米州)

米国では、買収したPEERLESS社が連結業績に寄与したことから大きく増収となり、米州全体では売上高20,081百万円(前年同期比43.1%増)となりました。PEERLESS社を除いた既存事業は、現地通貨ベースで米国が前年同期比2.6%減、カナダは22.8%増となりました。PEERLESS社の買収は米国子会社を通じて実施しており、のれんの償却額244百万円ほか買収に関わる会計上の費用を米国子会社が負担したことにより、営業利益は556百万円(前年同期比24.8%減)となりました。

(中国)

経済が減速し、需要が全般的に低調に推移しましたが、為替の影響もあり、日本円換算後の売上高は6,260百万円(前年同期比0.5%増)となりました。コスト削減による利益改善の結果、営業利益は755百万円(前年同期比25.6%増)となりました。

(アジア)

中国の景気減速の影響を受けて、地域経済の成長鈍化とともに投資需要が減退するなか、収益の改善と、メンテナンスなどサービス事業の拡充を図った結果、売上高は3,037百万円(前年同期比2.1%増)、利益面では179百万円の営業損失(前年同期は437百万円の営業損失)となりました。

(欧州)

原油価格の下落や周辺地域の情勢など、不透明感が増すなか、売上高は1,106百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益は17百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

資産合計は61,653百万円と前連結会計年度末に対し1,530百万円減少いたしました。これは、受取手形及び売掛金の減少2,440百万円、商品及び製品の増加873百万円、仕掛品の増加786百万円、のれんの減少830百万円等によるものです。

② 負債

負債合計は35,929百万円と前連結会計年度末に対し1,627百万円減少いたしました。これは、未払費用の減少682百万円、短期借入金の増加548百万円、未払法人税等の減少485百万円、長期借入金の減少550百万円等によるものです。

③ 純資産

純資産合計は25,723百万円と前連結会計年度末に対し97百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加490百万円、為替換算調整勘定の減少433百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表いたしました連結業績予想を、下記の通り修正いたします。

平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	60,000	5,500	5,000	3,000	114.36
今回修正予想 (B)	56,700	4,600	4,300	2,400	91.39
増減額 (B) - (A)	△3,300	△900	△700	△600	—
増減率 (%)	△5.5%	△16.4%	△14.0%	△20.0%	—
前期連結累計期間実績	49,968	3,395	3,423	2,026	77.52

日本国内市場では、需要の堅調な推移を見込む一方で、海外市場では、石油価格の下落によるエネルギー産業の設備投資の落ち込み、中国経済減速とアジア地域経済への影響が顕在化し、損益面で厳しい状況となりました。また海外子会社のクレーン事業での品質関連対応費用として、特別損失120百万円を計上いたしました。こうした要因を勘案し、通期の連結業績予想を修正することといたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を
資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更して
おります。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定に
よる取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法
に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業
分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来
にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成27年3月
26日)を第1四半期連結会計期間から適用し、本実務対応報告に定める経過的な取扱いに従って、在外子会社KITO
Americas, INC. が平成26年1月に改正されたFASB Accounting Standards CodificationのTopic 350「無形資産-の
れん及びその他」に基づき償却処理を選択したのれんについて、連結財務諸表におけるのれんの残存償却期間に基
づき償却しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,792	9,283
受取手形及び売掛金	12,593	10,153
商品及び製品	11,638	12,511
仕掛品	1,798	2,584
原材料及び貯蔵品	1,669	1,558
その他	3,041	3,354
貸倒引当金	△55	△60
流動資産合計	40,478	39,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,901	4,813
機械装置及び運搬具(純額)	4,797	5,105
その他(純額)	2,461	2,547
有形固定資産合計	12,161	12,466
無形固定資産		
のれん	4,012	3,181
その他	4,997	5,120
無形固定資産合計	9,009	8,302
投資その他の資産		
繰延税金資産	532	550
その他	1,000	948
投資その他の資産合計	1,532	1,498
固定資産合計	22,703	22,267
繰延資産	1	0
資産合計	63,183	61,653

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,113	6,105
短期借入金	4,319	4,868
未払費用	2,750	2,068
未払法人税等	1,013	527
引当金	788	964
その他	2,107	1,335
流動負債合計	17,093	15,868
固定負債		
長期借入金	16,025	15,475
役員退職慰労引当金	181	174
退職給付に係る負債	2,431	2,382
その他	1,825	2,027
固定負債合計	20,464	20,061
負債合計	37,557	35,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,219	5,226
利益剰余金	13,477	13,968
自己株式	△367	△354
株主資本合計	22,307	22,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	0
繰延ヘッジ損益	△56	△16
為替換算調整勘定	2,643	2,209
退職給付に係る調整累計額	△318	△285
その他の包括利益累計額合計	2,269	1,908
新株予約権	30	33
非支配株主持分	1,020	964
純資産合計	25,626	25,723
負債純資産合計	63,183	61,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	32,868	39,536
売上原価	21,493	25,394
売上総利益	11,374	14,141
販売費及び一般管理費	9,532	11,264
営業利益	1,842	2,876
営業外収益		
受取利息	34	21
受取配当金	0	0
為替差益	117	—
その他	157	145
営業外収益合計	309	167
営業外費用		
支払利息	183	357
為替差損	—	104
その他	64	115
営業外費用合計	247	578
経常利益	1,904	2,465
特別利益		
固定資産売却益	316	—
特別利益合計	316	—
特別損失		
品質関連対応費用	—	120
特別損失合計	—	120
税金等調整前四半期純利益	2,221	2,344
法人税等	944	1,103
四半期純利益	1,277	1,241
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,269	1,185

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,277	1,241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△1
繰延ヘッジ損益	—	40
為替換算調整勘定	1,874	△475
退職給付に係る調整額	△97	33
その他の包括利益合計	1,782	△403
四半期包括利益	3,060	837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,548	824
非支配株主に係る四半期包括利益	512	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	8,679	13,961	6,041	2,945	1,240	32,868	—	32,868
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,619	68	186	29	3	8,907	△8,907	—
計	17,299	14,029	6,227	2,975	1,244	41,775	△8,907	32,868
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	3,173	739	601	△437	17	4,094	△2,251	1,842

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△2,251百万円には、セグメント間取引消去△708百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,542百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、PEERLESS INDUSTRIAL GROUP, INC.の全株式を取得し、同社及びその子会社3社を連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度末に比べて、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は「米州」において、20,836百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「米州」において、PEERLESS INDUSTRIAL GROUP, INC.の全株式を取得し、同社及びその子会社3社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては5,349百万円であります。なお、のれんの金額は、暫定的に算定された金額であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	9,437	20,053	5,930	3,007	1,106	39,536	—	39,536
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,278	27	329	30	—	9,665	△9,665	—
計	18,715	20,081	6,260	3,037	1,106	49,201	△9,665	39,536
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	4,177	556	755	△179	17	5,328	△2,451	2,876

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△2,451百万円には、セグメント間取引消去△767百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,683百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。